



2020年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL <http://www.nabtesco.com>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 寺本 克弘
 問合せ先責任者（役職名） コーポレート・コミュニケーション部長（氏名） 峯岸 康（TEL）03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家・アナリスト向け）

（表示単位未満四捨五入）

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	199,800	△5.5	18,838	2.5	20,739	5.9	14,819	8.3	13,022	6.3	13,780	17.7
2019年12月期第3四半期	211,428	0.3	18,378	45.8	19,593	△3.2	13,685	△6.2	12,254	△7.5	11,703	△20.5
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
			円 銭				円 銭					
2020年12月期第3四半期			104.90				104.86					
2019年12月期第3四半期			98.76				98.71					

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	333,796	202,097	189,950	56.9
2019年12月期	344,558	199,133	187,398	54.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	36.00	—	37.00	73.00
2020年12月期	—	41.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	34.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	277,000	△4.4	25,300	△0.1	27,000	△3.5	17,300	△3.5	139.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期3Q	125,133,799株	2019年12月期	125,133,799株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	990,519株	2019年12月期	1,013,362株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期3Q	124,135,100株	2019年12月期3Q	124,082,540株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
3. 補足情報	13
(1) セグメント別受注残高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルスの影響を受ける中、油圧機器は前年同期並みに推移しましたが、航空機器、商用車用機器の需要が減少したことにより、売上高は199,800百万円、営業利益は18,838百万円、税引前四半期利益は20,739百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は13,022百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比11,926百万円(△5.4%)減少し207,551百万円となりました。売上高は、同11,628百万円(△5.5%)減少し199,800百万円となり、営業利益は、同460百万円(2.5%)増加し18,838百万円となりました。売上高営業利益率は9.4%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	84,202	76,979	△8.6
トランスポートソリューション事業	62,866	60,201	△4.2
アクセシビリティソリューション事業	59,039	57,954	△1.8
その他	13,370	12,417	△7.1
合計	219,477	207,551	△5.4

【売上高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	81,084	77,582	△4.3
トランスポートソリューション事業	60,600	57,306	△5.4
アクセシビリティソリューション事業	57,519	53,046	△7.8
その他	12,226	11,866	△2.9
合計	211,428	199,800	△5.5

【営業利益】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	11,716	11,867	1.3
トランスポートソリューション事業	5,033	4,720	△6.2
アクセシビリティソリューション事業	5,541	4,913	△11.3
その他	1,484	1,148	△22.6
全社又は消去	△5,396	△3,810	—
合計	18,378	18,838	2.5

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比7,223百万円(△8.6%)減少し76,979百万円となりました。売上高は、同3,502百万円(△4.3%)減少し77,582百万円、営業利益は、同151百万円(1.3%)増加し11,867百万円となりました。

精密減速機は、自動車産業等各種産業での設備投資の回復が遅れたことにより、売上高は前年同期比減収となりました。油圧機器は、先進国や東南アジア市場等で需要が減少したものの、中国市場の旺盛な需要が継続し、売上高は前年同期並みとなりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比2,665百万円(△4.2%)減少し60,201百万円となりました。売上高は、同3,294百万円(△5.4%)減少し57,306百万円、営業利益は、同313百万円(△6.2%)減少し4,720百万円となりました。

鉄道車両用機器は、新型コロナウイルスの影響により海外向け及びMRO(Maintenance, Repair, Overhaul)が低調に推移し、売上高は前年同期比減収となりました。航空機器は、民間航空機向けの需要が減少し、売上高は前年同期比減収となりました。商用車用機器は、国内市場及び東南アジア市場の需要が停滞し、売上高は前年同期比減収となりました。船用機器は、MROの需要が一時的に増加し、売上高は前年同期並みとなりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比1,085百万円(△1.8%)減少し57,954百万円となりました。売上高は、同4,473百万円(△7.8%)減少し53,046百万円、営業利益は、同628百万円(△11.3%)減少し4,913百万円となりました。

自動ドア事業は、オリンピック・パラリンピック開催に向けた再開等々の旺盛な需要が一段落したことに加え、新型コロナウイルスの影響による国内外市場での需要停滞により、売上高は前年同期比減収となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比953百万円(△7.1%)減少し12,417百万円となりました。売上高は、同359百万円(△2.9%)減少し11,866百万円、営業利益は、同336百万円(△22.6%)減少し1,148百万円となりました。

包装機は、顧客の設備投資計画の変更や、工場への訪問が制限されたことにより受注が停滞し、売上高は前年同期比減収となりました。

【全社又は消去】

全社又は消去の営業利益は、非事業用不動産(投資不動産)の売却益1,575百万円により前年同期比1,586百万円増加し△3,810百万円となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	増減率 (%)
日本	120,213	112,371	△6.5
中国	32,939	36,251	10.1
その他アジア	11,711	11,511	△1.7
北米	16,173	11,805	△27.0
ヨーロッパ	29,022	26,453	△8.8
その他地域	1,370	1,408	2.8
合計	211,428	199,800	△5.5

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

② 税引前四半期利益

金融収益は197百万円、金融費用は、主に為替差損の発生により683百万円となりました。持分法による投資利益は2,387百万円となりました。その結果、税引前四半期利益は20,739百万円と前年同期比1,146百万円(5.9%)の増益となりました。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用5,920百万円及び非支配持分に帰属する四半期利益1,797百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、13,022百万円と前年同期比768百万円(6.3%)の増益となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は前年同期比6.15円増加し、104.90円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日)	増減額
資産	344,558	333,796	△10,762
負債	145,424	131,699	△13,726
資本	199,133	202,097	2,964

【資産】

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は165,325百万円、非流動資産は168,471百万円であり、その結果、資産合計は333,796百万円と前連結会計年度末比10,762百万円の減少となりました。主な増加要因は、有形固定資産の増加3,767百万円です。主な減少要因は、現金及び現金同等物の減少3,025百万円、及び営業債権の減少8,353百万円です。

【負債】

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は96,958百万円、非流動負債は34,740百万円であり、その結果、負債合計は131,699百万円と前連結会計年度末比13,726百万円の減少となりました。主な減少要因は、営業債務の減少4,920百万円、及びその他の債務の減少5,916百万円です。

【資本】

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は202,097百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は189,950百万円と前連結会計年度末比2,552百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益13,022百万円に伴う利益剰余金の増加です。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少9,700百万円です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		58,686	55,661
営業債権		69,175	60,822
契約資産		1,000	1,218
その他の債権		1,300	962
棚卸資産		41,257	41,932
その他の金融資産		4,752	2,531
その他の流動資産		2,984	2,198
流動資産合計		179,154	165,325
非流動資産			
有形固定資産		87,083	90,850
無形資産		5,127	4,920
使用権資産		9,004	8,286
のれん		14,161	14,445
投資不動産		3,928	2,638
持分法で会計処理されている投資		31,952	33,840
その他の金融資産		11,210	10,215
繰延税金資産		1,868	1,944
その他の非流動資産		1,072	1,334
非流動資産合計		165,404	168,471
資産合計		344,558	333,796

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		45,021	40,101
契約負債		5,579	5,668
社債及び借入金		30,719	27,577
その他の債務		14,405	8,489
未払法人所得税		4,040	3,866
引当金		1,162	987
リース負債		2,236	1,945
その他の金融負債		13	—
その他の流動負債		6,439	8,325
流動負債合計		109,614	96,958
非流動負債			
社債及び借入金		13,217	12,911
リース負債		6,568	5,999
退職給付に係る負債		9,569	9,503
繰延税金負債		4,540	4,083
その他の金融負債		—	26
その他の非流動負債		1,916	2,218
非流動負債合計		35,810	34,740
負債合計		145,424	131,699
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		14,932	14,965
利益剰余金		163,794	167,088
自己株式		△2,536	△2,470
その他の資本の構成要素		1,208	367
親会社の所有者に帰属する持分合計		187,398	189,950
非支配持分		11,735	12,147
資本合計		199,133	202,097
負債及び資本合計		344,558	333,796

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2	211,428	199,800
売上原価		△155,382	△146,890
売上総利益		56,046	52,911
その他の収益		1,368	2,730
販売費及び一般管理費		△38,506	△36,396
その他の費用		△530	△407
営業利益	2	18,378	18,838
金融収益		471	197
金融費用		△1,385	△683
持分法による投資利益		2,129	2,387
税引前四半期利益		19,593	20,739
法人所得税費用		△5,908	△5,920
四半期利益		13,685	14,819
四半期利益の帰属 親会社の所有者		12,254	13,022
非支配持分		1,431	1,797
四半期利益		13,685	14,819
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		98.76	104.90
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		98.71	104.86

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益		13,685	14,819
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
確定給付負債(資産)の純額の再測定		—	4
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		265	△802
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分		420	199
純損益に振り替えられることのない 項目合計		685	△599
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△2,667	△440
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		△2,667	△440
税引後その他の包括利益合計		△1,982	△1,039
四半期包括利益合計		11,703	13,780

四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		10,712	12,153
非支配持分		991	1,627
四半期包括利益合計		11,703	13,780

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2019年1月1日残高		10,000	15,096	155,133	△2,903	△2,887	4,264
四半期利益		—	—	12,254	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△2,223	683
四半期包括利益合計		—	—	12,254	—	△2,223	683
自己株式の取得及び処分等		—	—	△35	368	—	—
配当金		—	—	△9,074	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	29	—	—	△32
株式報酬取引		—	△209	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△209	△9,080	368	—	△32
2019年9月30日残高		10,000	14,886	158,306	△2,535	△5,110	4,915

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2019年1月1日残高		—	1,377	178,702	10,553	189,255
四半期利益		—	—	12,254	1,431	13,685
その他の包括利益		△3	△1,542	△1,542	△440	△1,982
四半期包括利益合計		△3	△1,542	10,712	991	11,703
自己株式の取得及び処分等		—	—	333	—	333
配当金		—	—	△9,074	△674	△9,748
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		3	△29	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△209	—	△209
所有者との取引額等合計		3	△29	△8,951	△674	△9,625
2019年9月30日残高		—	△194	180,463	10,870	191,333

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2020年1月1日残高		10,000	14,932	163,794	△2,536	△3,639	4,847
四半期利益		—	—	13,022	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△270	△572
四半期包括利益合計		—	—	13,022	—	△270	△572
自己株式の取得及び処分等		—	—	—	66	—	—
配当金		—	—	△9,700	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	△28	—	—	2
株式報酬取引		—	33	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	33	△9,728	66	—	2
2020年9月30日残高		10,000	14,965	167,088	△2,470	△3,909	4,277

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2020年1月1日残高		—	1,208	187,398	11,735	199,133
四半期利益		—	—	13,022	1,797	14,819
その他の包括利益		△27	△869	△869	△170	△1,039
四半期包括利益合計		△27	△869	12,153	1,627	13,780
自己株式の取得及び処分等		—	—	66	—	66
配当金		—	—	△9,700	△1,215	△10,914
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		27	28	—	—	—
株式報酬取引		—	—	33	—	33
所有者との取引額等合計		27	28	△9,601	△1,215	△10,816
2020年9月30日残高		—	367	189,950	12,147	202,097

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	81,084	60,600	57,519	199,203	12,226	211,428	—	211,428
セグメント間売上高	2,007	695	4	2,706	217	2,923	△2,923	—
売上高合計	83,091	61,295	57,523	201,909	12,442	214,351	△2,923	211,428
セグメント利益 (営業利益)	11,716	5,033	5,541	22,290	1,484	23,774	△5,396	18,378
金融収益				—				471
金融費用				—				△1,385
持分法による投資利益				—				2,129
税引前四半期利益				—				19,593

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	77,582	57,306	53,046	187,934	11,866	199,800	—	199,800
セグメント間売上高	1,519	813	8	2,340	181	2,521	△2,521	—
売上高合計	79,101	58,119	53,053	190,274	12,047	202,321	△2,521	199,800
セグメント利益 (営業利益)	11,867	4,720	4,913	21,500	1,148	22,649	△3,810	18,838
金融収益	—							197
金融費用	—							△683
持分法による投資利益	—							2,387
税引前四半期利益	—							20,739

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

3. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第3四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)		当第3四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	27,135	21.3	27,144	20.6
トランスポートソリューション事業	58,276	45.7	59,237	44.9
アクセシビリティソリューション事業	32,278	25.3	37,012	28.1
その他	9,908	7.7	8,521	6.4
合計	127,597	100.0	131,914	100.0